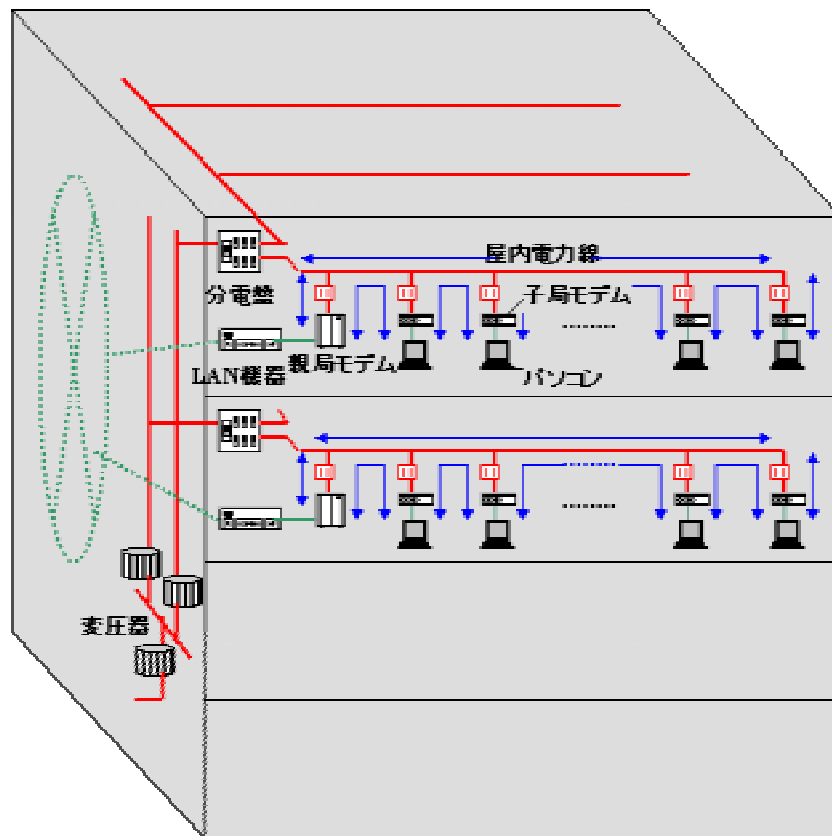


関電工本社ビルにおける実証試験の概要について

1. 設置者名：東京電力株式会社
2. 設置場所：株式会社関電工本社ビル
(東京都港区芝浦4 - 8 - 33)
3. 試験期間：平成18年7月31日～平成19年3月31日
4. 試験周波数帯：2MHz～30MHz
5. 主な試験項目：
 - ・ 執務フロアや会議室など、オフィスビルにおける様々な配線形態や使用形態を想定した漏えい電界低減技術の検証。
 - ・ 複数のモデムを設置した場合の漏えい電界の特性や、漏えい電界が隣接フロアへ及ぼす影響などの評価。
 - ・ ビル内配線に関する知識と敷設実績が豊富な関電工の協力による、実用化に向けたより詳細なデータ分析の実施。
6. 実証試験イメージ：



←→：通信信号の流れ

7. 新型モデムについて

先進オフィスにマッチするよう、従来のモデムのイメージとは一線を画したなだらかな曲線のデザインとした。また、スイッチングハブ^()機能を内蔵するとともに、モデムの周囲4方向にLANポート(LANケーブルの差込口)を設けるなど使い勝手の向上を図っている。



()スイッチングハブ

ネットワークの中継機器であるハブの一種。通常のハブは、ある端末から送られてきたデータを全ての端末に送信し、データの取捨選択は各端末が行うのに対し、スイッチングハブは端末から送られてきたデータの宛先を検出し、送り先の端末にしかデータを送信しない。

以 上